



病院長：角南典生からのメッセージ

20年前より松山看護学校で、19年前より聖カタリナ衛生看護科で講義をさせていただいています。

眼を輝かせてわたしの講義を一生懸命聴いてくださる学生さん。眠くて眠くてあくびをしながら聴いてくださる学生さん。満点で試験合格した学生さん。追試でなんとか卒業し、やっとのことで国家試験に無事合格した学生さん。いろいろな看護学生さんと楽しいひとときを持ちました。

看護師になって救急病院や循環器内科や脳神経外科で急変する患者さんに一瞬一刻を戦ってきた看護師さん。寝る間も惜しんで働き、勉強し、燃え尽き症候群かなと感じている看護師さん。いろいろな看護師さんと話しあえる貴重な時間も多くありました。

今までとは違った環境の病院で働きたいと考えている看護師さんにぜひ一度見学に来ていただきたいと思います。大切なのは、思いやり。患者さんへの思いやり、仲間に対する思いやりのある方、お待ちしております。



病院師長挨拶

「ここに入院してよかった」と思える看護

福角病院は、回復期リハビリ病棟57床・療養病棟57床の地域医療を担っている病院です。

私達看護部は、病院の理念である、高齢者に対する尊敬の気持ちをもち地域に愛される病院であることを大切にして日々の看護に取り組んでいます。

看護実践においては、社会のニーズや医療の変化に対応できるよう、院外の研修に参加する機会を設けて看護に必要な知識や技術をスタッフ間で共有し看護に生かせるように努めています。

患者さんが住み慣れた地域で、その人らしい生活の実現に貢献できる看護に取り組み、患者さんやご家族が「福角病院に入院してよかった」と思えるあたたかな配慮のある看護の提供を目指しています。

やりがいのある職場づくり

働きやすく働き続けられる職場とは、お互いが病院の規範を守り、スタッフが専門職業人としての役割を自覚し責任を果たすことが根底にあります。職場での対話を大切に、自分達で職場環境を改善することが必要であると思っています。病院全体で5S活動に取り組み「患者さんにとって安全で快適な療養環境の提供、職員にとっての安全かつ快適な職場環境の改善」に向けて小さな改善に取り組んでいます。

スタッフ全員で新人看護職員を支える体制

新人教育体制は、新人看護職員に対して、エルダー・実地指導者が相談や支援・指導を行い、病棟スタッフ全員が新人を育成、師長や主任がサポートする屋根瓦式教育体制です。また、中途採用者に対しても不安を軽減しスムーズに業務遂行ができるよう、相談・支援体制を整えています。

病院師長 平塚真由美



病棟師長からのメッセージ

➤ 回復期病棟

急性期での治療を終え在宅復帰に向けて、患者さんの安全を確保しつつリハビリを中心にした生活支援を行っている病棟です。多職種と連携をとりながら、患者さん個々の目標を共有して、患者さんやご家族の意思決定を尊重した看護ケアを実施しています。

患者さんやご家族が安心して入院生活が送れるように、個々の患者さんの気持ちや思いに寄り添った看護ができるように日々努めています。また、患者さんやご家族が「こんな看護師にケアされたい」と思えるスタッフの育成に尽力していきたいと思えます。

3病棟師長 山田希望

➤ 療養病棟

医療度や介護度の高く、在宅復帰までに時間を要する患者さんや終末期を迎えられた患者さんが80%を占めます。患者さんが、地域社会での生活を可能にするための看護・介護サービスの提供、地域で生活するための社会資源の活用等、社会福祉士をはじめ他職種と共に関わっています。

また、終末期を迎えられた患者さんご家族には、身体のみならず、心の痛みに寄り添い、「福角病院で最後を迎えることができ良かった」と言って頂ける看護を目指しております。

4病棟師長 長谷川久次



看護師からのメッセージ

仕事と家庭の調和がとれる働きやすい職場です!!

当病院には院内保育園が整備されており、現在は保育園を利用しながら日勤のみの勤務をしています。急な子供の発熱などで勤務調整をお願いすることもあります。看護師長をはじめ、周囲のスタッフの理解と協力を得られることができ、仕事と家庭の両立ができる職場だと感じています。

回復期リハビリ看護にやりがいを感じています!!

急性期病院では、疾患の理解と治療に伴う看護を短期間の在院日数内に行う必要があり、患者さんの話をゆっくりと聞くことへの困難感に戸惑いを感じると同時に、急性期病院での治療を終えた患者さんの今後の「生活」に関心を持っておりました。

回復期リハビリテーション病棟では、入院当初から在宅へ繋ぐための段階を追った看護計画を立案し、スタッフ一丸となって実践しています。

発症前の状態に戻ることは困難であっても、患者さんやそのご家族の思いを受け止め、在宅での生活に繋がられるよう多職種とのカンファレンスを行い、患者さんやご家族の希望に添ったかたちで、患者さんの回復過程を認識することができ、とても看護のやりがいを感じます。

回復期リハビリテーション認定看護師としてスキルアップができます!!

当院で、患者さんと関わる中で、回復期リハビリ看護の知識や技術を高めたいと考え、回復期リハビリテーション協会主催の「回復期リハビリ認定看護師」の研修受講希望を申し出たところ、病院の後押しもあり公費で受講することができました。

回復期リハビリテーション認定看護師として、学び得た知識や技術を駆使し、患者さんへの質の高いケア提供は勿論のこと、病棟全体の看護の質向上を図ることが自分の役割であると思っています。

超高齢化社会の進展に伴い、認知症の患者さんが多く、関わりの難しさやリハビリテーションが思うように進まないジレンマもありますが、家族の支援状況や退院後の生活を見据え、安心した生活が送れるための看護実践に努めています。



介護士からのメッセージ

福角病院は、緑の木々や鳥のさえずりが聞こえるなど、自然を感じる事ができる高台にあり、私達職員も癒されています。

回復期リハビリテーション病棟には、これまで普通に日常生活を送られていた方が、病気やケガによって今までできていたことができなくなった患者さんが大部分を占めています。

また、療養病棟では残存機能が低下し、日常生活面全てにおいて援助を必要とされる患者さんが居られます。

私達介護士は、患者さんの身体的・精神的負担に寄り添い、少しでも日常生活を取り戻すことや残存機能の維持ができるよう関わっています。